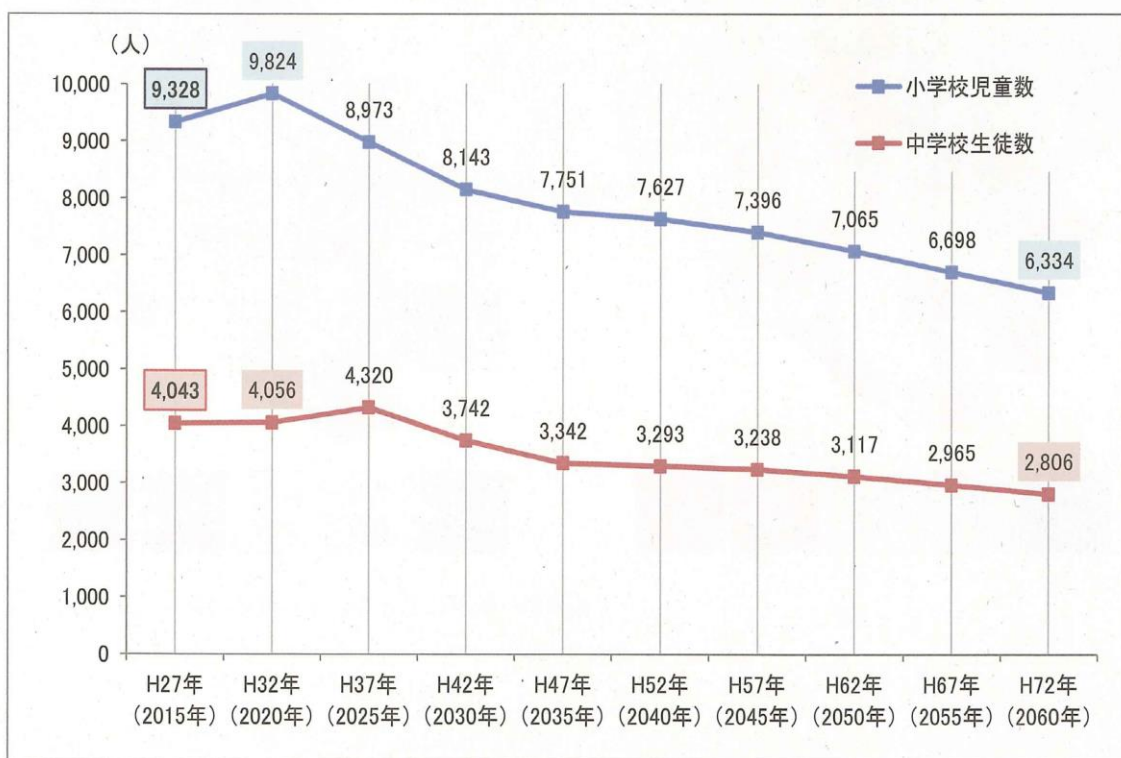


(4) 教育（学区、学校数等）への影響

平成27（2015）年時点人口による将来人口推計（独自推計）を基に、小学校の児童数及び中学校の生徒数を試算しています。

平成32（2020）年は小学校児童数、中学校生徒数ともに平成27（2015）年より増加する見込みですが、このまま少子化が進むと、平成72（2060）年には小学校児童数は平成27（2015）年時点の67.3%、中学校生徒数は平成27（2015）年時点の69.4%程度に減少すると見込まれており、教育環境も変化していくと予想されます。

図表 3-2-8 小学校児童数及び中学校生徒数の将来推計



(単位:人)

	H27年 (2015年)	H32年 (2020年)	H37年 (2025年)	H42年 (2030年)	H47年 (2035年)	H52年 (2040年)	H57年 (2045年)	H62年 (2050年)	H67年 (2055年)	H72年 (2060年)
小学校児童数	9,328	9,824	8,973	8,143	7,751	7,627	7,396	7,065	6,698	6,334
中学校生徒数	4,043	4,056	4,320	3,742	3,342	3,293	3,238	3,117	2,965	2,806

※ 町丁目別推計人口をもとに学校区域別に合計し、平成27（2015）年5月1日時点の児童・生徒数で補正

※ 公立の小中学校分のみ